

会誌掲載記事の申し合わせ

1. 編修規程第3条に規定されている電気学会誌に掲載する記事の指標は、付1のとおりとする。

(改廃等)

1. 本申し合わせは、平成3年7月2日、編修会議において承認制定。
2. 本申し合わせは、平成8年3月25日、編修会議において改正。
3. 本申し合わせは、平成8年3月25日より施行。
4. 本申し合わせは、平成12年12月13日、理事会において一部改正。
5. 本申し合わせは、令和6年7月22日、編修会議において改正。
6. 本申し合わせは、令和6年11月1日より施行。

会誌掲載に関する指標

巻頭言	学会運営の節目にあたってのあいさつ文あるいは論文。	2 ページ以内
随 想	学術または技術に直接関連したものに限らず人生経験を通じて感じたこと、想うことなど、一般会員に感銘を与える内容(エッセイ)のもの。	2 ページ以内
論 説	学術、技術またはそれに直接関連がなくても会員一般の関心を促したいと考えられる意見、本会の事業および動向に対する批判・意見および会員一般に特に関心を持たれる事項などを簡潔端的に記述するもの。	3 ページ 以内
講 演	本会が主催・共催した講演会およびその他であっても、内容が特に本会会員に益するところが大きいと思われる講演全文または要旨。	5 ページ以内
インタビュー	会員が関心を持ったり、会員の関心を促したいと考えられる事項について、インタビューによる紹介が適切と考えられるものを主題とする。	
取材記事	会員が関心を持ったり、会員の関心を促したいと考えられる事項について、取材記事による紹介が適切と考えられるものを主題とする。	4 ページ程度
座談会 討論会	解説などで取り上げるよりも、その道の専門家による自由な発言をもとに問題点を解説した方が適切と考えられるものを主題とする。	5 ページ程度
特 集	ある分野の問題について 総合的な解説を行うため、特別な企画に基づいて多数の著者により記述を収録したもの。	20 ページ程度 (複数著者)
解 説	その時点において関心の払われている技術や関係する問題で、特に会員に有用な項目を取り上げて解説したもの。発展途上にある技術の場合など、論理的に若干の不確かさがあってもやむを得ない。その時点において読者に新しい知識を導入するのに役立つよう文献などを引用しながら簡明に説明したもの。	4 ページ程度
学生のページ	特に学生(若い技術者を含む)を対象として、先輩の経験談、その時点におけるトピックス、その他を平易に分かりやすく解説したもので、対談あるいは座談会形式により問題点を解説することも考えられる。学会活動に関心を持つ学生を育てることも考慮のこと。	4 ページ以内

技術探索記事	ある技術について、過去より現在に至る発展経過をたどり探索することにより、その技術の今後の発展普及に寄与できる題目について取り上げるもの。	4 ページ以内
技術レポート	国の内外における技術の動向を調査した結果の要約。電気工学関係会議の紹介、技術委員会における調査報告（技術報告）の要旨などもこれに含まれる。ただし、技術報告要旨は1件につき 0.5 ページ以下とする。	1 ページ程度
学会だより	学会理事会の概要報告の他、会員に周知した方が良いと思われる学会の告知や活動報告、学会要人の死亡にあたっての追悼文。	
支部のページ	各支部の活動状況紹介など、各支部が独自に企画した記事。企画記事の内容は、各支部に一任する。	2 ページ程度
論文誌目次	各論文誌に掲載された論文題目、著者などの目次紹介。	
規格調査会記事	電気規格調査会内の委員会で取り扱っている規格などの制定・改定の状況を紹介するもの。国際規格などの動向についても同等に扱う。	1 ページ程度
寄書・会員の声	本会の活動に対する自由な意見、批判、希望などを簡潔に執筆したもの。誌上匿名は差し支えない。また、要旨だけを掲載する場合もある。	1 件 0.5 ページ以内
編修後記	編修委員会および編修専門部会と読者（一般会員）とのかけ橋として、企画記事の特徴、ねらい、審議状況などを紹介するもの。	0.5 ページ以内
求人	教員、官公庁等（営利団体を除く）の研究者の求人情報を掲載するもの。	
その他	上記各欄にとれわれず、会員に益するところが大きいと考えられる題目を掲載するもの。	

注 1：自主的投稿があった場合、その採否は関連編修専門部会の審議結果をもとに編修委員会で決定する。

注 2：頁の指定欄にて“以内”とあるものは、その指定頁以内にまとめること。また、“程度”とある場合は、他の記事の量を加減することにより増減しても良いものを示す。